

令和6年度放射線安全管理講習会 出張報告

○福井 宥平

産業科学研究所技術室工作班

1. 派遣先の機関名及び派遣期間

派遣先: Zoom ウェビナーによるライブ配信

派遣期間: 令和7年1月20日(月)

2. 派遣用務(研修テーマ)

本講習会に参加し、最新の放射線安全管理動向について情報を得る。

3. 研修の概要及び成果

午前中は原子力規制庁の担当者から「最近の放射線安全規制の動向」と題した講演から始まり、表示付認証機器等の取扱いについてのお話があり、午後からは放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメント、従事者教育について、災害と危機管理の3つトピックについて講演が行われた。

4. 研修の感想又は希望等

原子力規制庁担当者からの講演では、最近繰り返し注意喚起がされている放射線計測器信頼性確保の措置の話から始まり、立入検査の実施状況や事故・トラブル事例紹介等の話題があった。特に特定放射性同位元素の防護に係る立入検査は、全ての対象事業所の1回目が完了し、2回目の立入検査へ進んでいる状況であることが紹介されたため、いつ量子ビーム施設に立入検査が決まったとしても慌てることの無いよう日頃から適正な管理を心掛けたいと思う。また、原子力規制庁が作成・公開している「〇〇事項に関するガイド」というものがあり、私も放射線障害予防規程に関するガイドはよく利用するが、本講演で立入検査に関するガイドというものがあることを初めて知った。このような新しい情報を得られることがあるため、定期的な情報収集が大切だと改めて感じた。